

各 位

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社
 代表者 代表取締役社長 千田 豊作
 (コード番号 6254)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 日向 潤
 (TEL 046-228-5195)

業績予想及び配当予想の修正 並びに営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月14日に公表した業績予想及び配当予想について下記の通り修正するとともに、平成26年3月期第3四半期連結累計期間における営業外収益(為替差益)の計上についてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,545	163	146	30	3.26
今回修正予想(B)	14,995	△632	△347	△352	△39.40
増減額(B-A)	△550	△796	△493	△382	
増減率(%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	13,288	△392	△12	△106	△11.37

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,925	277	249	155	16.89
今回修正予想(B)	11,240	△331	67	7	0.84
増減額(B-A)	△685	△608	△181	△147	
増減率(%)	△5.7	—	△73.0	△95.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	9,381	27	430	353	37.84

修正の理由

1. 連結業績予想

売上高につきましては、国内の製薬関連企業や韓国の半導体・液晶関連企業並びに台湾の液晶関連企業等から受注した超純水製造装置の工事が進捗いたしました。国内、中国の半導体関連企業の設備投資が手控えられたこと等により、計画比3.5%減の149億9千5百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、一部の超純水製造装置の工期延長による外注費・労務費の増加や価格競争の激化等により、営業損失は6億3千2百万円(計画は1億6千3百万円の営業利益)、経常損失は3億4千7百万円(計画は1億4千6百万円の経常利益)、当期純損失は3億5千2百万円(計画は3千万円の当期純利益)となる見込みであります。

2. 個別業績予想

売上高につきましては、国内の製薬関連企業や韓国の半導体・液晶関連企業から受注した超純水製造装置の工事が進捗いたしました。国内の半導体関連企業等の設備投資が手控えられたこと等により、計画比5.7%減の112億4千万円となる見込みであります。

利益面につきましては、連結と同様の理由から営業損失は3億3千1百万円(計画は2億7千7百万円の営業利益)、経常利益は6千7百万円(計画比△73.0%)、当期純利益は7百万円(計画比△95.2%)となる見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年5月14日発表)	—	0.00	—	12.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	0.00	—	12.00	12.00

修正の理由

当社は、今後の事業展開と経営体質の強化を図るために必要な内部留保を行うとともに、株主重視の観点から、安定した配当を継続していくことを基本方針としておりますが、上記業績予想の修正に伴い平成26年3月期の期末配当予想を8円と修正いたします。

・営業外収益(為替差益)の計上及びその内容

外国為替相場の変動により、平成26年3月期第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)において、当社の保有する外貨預金等に関して3億7千5百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。

なお、これは平成26年3月期第3四半期末時点での為替相場による差益であり、平成26年3月期末の為替相場により、変動いたします。

※上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なることがあります。

以 上